

質問回答書

工事件名 : 室蘭工業大学教育・研究9号館改修工事

| 室蘭工業大学施設課 | | | |
|---|--|---|---|
| 課長 | 副課長 | 係長 (建築担当) | 担当者 |
|  |   |  |  |

質問回答書

工事件名： 室蘭工業大学教育・研究9号館改修工事

2024年7月31日

| 番号 | 図面番号 | 質疑事項 | 回答 |
|----|---|---|---|
| 1 | 現場説明書 | 仮設計画図に明示されている工事用地の仮囲いを設置する範囲内はプレハブ類を設置でき資材等を仮置きできるスペースと考えますが、仮設鉄板敷き養生等は見込まず現状のままで使用し、工事完成時の復旧等は考えなくて宜しいでしょうか。また、この仮設費用は共通仮設費上乘せ分として計上する事と、考えて宜しいでしょうか。 | 工事完成時の原状復旧は必要です。 直接仮設に計上していない仮設費用はすべて共通仮設費に計上する。 |
| 2 | 現場説明書 | 仮設計画図に明示されている仮設間仕切壁は、教育・研究8号館R棟側に設置するものと考えますが、間仕切壁撤去跡の床・天井のビス穴等や既存床・壁・天井の汚れ等について、部分補修が必要と考えますか、貼替等が必要と考えますか。 | 仮設間仕切壁の設置・撤去に伴う既存の天井、壁、床の補修は原状回復程度とする。 補修内容については監督職員との協議による。 |
| 3 | 内訳明細書(参考数量) 特A-2(特記仕様書) A-02(仕上表) A-20(PH平面図) A-28(矩計図) | 屋上防水改修について、外部仕上表で改修後の項目を全て二重線で消されていますが、PH平面図と矩計図には改修後の内容に、改質アスファルト防水(かぶせ工法)新設と記載されています。特記仕様書には改質アスファルトシート防水に○が付いています。参考数量の内訳明細書には改修内訳が明示されていません。水洗いのみと考えますか、ご指示下さい。 | 屋上防水改修について、図面A-02(仕上げ表(1)(改修前・後))の外部仕上表の内容とする。 |
| 4 | 内訳明細書(参考数量) A-32・33(ELV詳細図) | エレベーター機械室解体に伴う防水層新設が図示されていますが、参考数量の内訳明細書には改修内訳が明示されていません。項目追加と考えますか。 | 屋上防水改修について、図面A-02(仕上げ表(1)(改修前・後))の外部仕上表の内容とする。 |
| 5 | 内訳明細書(参考数量) A-58～63(EV詳細図) | 既存エレベーター撤去及びエレベーター新設に関して、指定工期内で施工対応可能な施工者(メーカー)が探し出せていません。設計図の型式SP-11-CO60 [DLX--13]は東芝エレベーター(株)の製品と考えますが指定工期の対応が取れません。工期延長あるいはエレベーター工事に関連する工事範囲の取り止め等を、ご検討いただけないでしょうか。 | エレベーター改修について、本工事に含めるものとする。 |

| 番号 | 図面番号 | 質疑事項 | 回答 |
|----|---|---|---|
| 6 | 特A-2(特記仕様書) | 施工数量調査の範囲が図示の範囲と書かれていますが、立面図に明記がありません。タイル・塗装等の改修範囲全てと考えますか。 | 外壁調査の範囲は外壁タイル面とする。 |
| 7 | A-06(仕上表) A-30(内部階段詳細図) | 階段室の備考欄に手摺撤去と書かれていますが、内部階段詳細には手摺塗替えと書かれています。詳細図の塗替えを正と考えて宜しいでしょうか。 | 図面A-30(内部階段 詳細図(改修前・後))を正とする。 |
| 8 | A-06(仕上表) A-33(ELV詳細図) | ELVの備考欄に吊下げフック新設と書かれていますが、ELV詳細には吊下げフックは書かれていません。不要と考えて宜しいでしょうか。 | 図面A-06(仕上表(5)(改修前・後))の仕上表備考欄を正とする。 |
| 9 | A-07~20(平面図) A-21~26(立面図) A-54(部分詳細図) | 外壁改修で袖壁躯体を撤去した跡の仕上りで、Y2通りのX4とX9通りの出隅部分が、磁器質タイルと複層塗材REの取合いになります。磁器質タイルの90° 曲りを使用して出隅を納める様に考えますか。 | 図面A-26(東立面図・西立面図(改修後))の仕上げとする。 |
| 10 | 内訳明細書(参考数量) A-07~20(平面図) A-21~26(立面図) | 躯体改修で各所袖壁コンクリート撤去がありますが、はつり撤去跡の下地面の復旧項目がありません。周囲の既存壁に合わせて、磁器質タイル貼や、塗装下地面の成形等。躯体撤去項目に含むと考えますか、外壁改修項目に追加として考えますか。 | 図面A-54(部分詳細図(3)(改修前・改修後))のとおり、撤去を躯体撤去とし、仕上は外壁改修とする。 |
| 11 | 内訳明細書(参考数量) A-06(仕上表) A-07~20(平面図) A-21~26(立面図) A-54(部分詳細図) | 部分詳細図D-12に、改修後外壁外断熱と記載されていますが、内訳明細書及び仕上表、平面図・立面図にも記載がありません。外断熱ではなく立面図優先で考えて宜しいでしょうか。 | 図面A-26(東立面図・西立面図(改修後))の仕上げとする。 |
| 12 | A-33(ELV詳細図) | ELV機械室解体撤去跡の階段段差部分に敷き込む合成樹脂発泡材については、規格・種別の規制はないと考えて宜しいでしょうか。 | ポリスチレンフォーム敷きとし、公共建築工事標準仕様書(建築工事編)による。 |

| 番号 | 図面番号 | 質疑事項 | 回答 |
|----|-----------------------------------|---|----------------|
| 13 | 内訳明細書(参考数量) | No.22の7.躯体改修(2)-1ホール床塞ぎの型枠運搬費が311m ² とありますが、普通型枠の数量が5.4m ² と書かれていますので、型枠運搬費も5.4m ² ではないかと考えますが、ご指示下さい。 | 普通型枠の数量と同じとする。 |
| 14 | A-54(部分詳細図) | 「環境配慮型剥離剤により塗膜【撤去】」とありますが、想定されている具体的な工法等がある場合は、ご教示ください。 | 剥離剤工法とする。 |
| 15 | A-41(天井伏図) | 内装薄付仕上塗材(下地調整材:アスベスト含有)撤去(下地共)の除去方法ですが、想定されている具体的な工法等がある場合は、ご教示ください。 | ケレン工法とする。 |
| 16 | 特A-3 | 複層塗材REの仕上げの形状・工法等をご教示ください。 | 凹凸状吹付工法とする。 |
| 17 | 特A-6 | DPの上塗り等級をご指示ください。 | 1級とする。 |
| 18 | 特A-6 | 錆止め塗料塗りの項目に○がついていませんが、鉄鋼面に錆止めは不要ということでしょうか？ | 図示による。 |
| 19 | A-06(仕上表) A-35(機械室、風除室、ホール詳細図) | フリーアクセスフロアH=100,200新設について、仕様や想定されているメーカーや型番をご教示ください。 | メーカーの指定はない。 |

| 番号 | 図面番号 | 質疑事項 | 回答 |
|----|--|--|---|
| 20 | 特A-6 | 石膏ボードの継ぎ目処理工法について、塗装下とクロス下それぞれの工法をご教示ください。 | せつこうボードの目地工法は縦目処理工法によるテーパエッジとする。 |
| 21 | A-14(1階平面図) | 壁化粧ケイカル版t6新設の仕様について、アルミジョイナー共と考えてよろしいでしょうか？ | 宜しい。 |
| 22 | A-39(新設WC詳細図) | 間仕切壁に充填するGWについて、断熱などの仕様をご指示ください。 | グラスウール 24kg/m ³ とし、厚さは図示による。 |
| 23 | A-27(矩計図) A-28(矩計図) A-35(機械室、風除室、ホール詳細図) | 発泡ウレタン吹付の断熱等級をご指示ください。 | 種類はA種1とする。 |
| 24 | A-42(天井伏図) | 天井点検口アルミ製 600x600の仕様について、アルミ額縁枠と理解してよろしいでしょうか？ | 宜しい。 |
| 25 | A-30(内部階段詳細図) A-53(部分詳細図) | WUC塗替えの仕様について、1-UCと2-UCのどちらで想定しておられるでしょうか？ | 2-UCとする。 |
| 26 | 内訳明細書(参考数量) 現場説明書 別図 | 現場説明書 別図に明記されている養生シート(参考数量 3,005m ²)について、参考数量書(直接仮設工事-別紙明細)に記載されている養生シートと数量が異なりますが、別物と理解してよろしいでしょうか？ | 養生シートは同様のものとし、直接仮設工事で計上している。 |

| 番号 | 図面番号 | 質疑事項 | 回答 |
|----|-----------------------------|--|---|
| 27 | 内訳明細書(参考数量) A-48・49(建具表) | 内訳明細書の参考数量で、4 建具改修の(2)-1 アル製建具にはAW-N1・N2・N19の3項目のみ明記されていますが、建具表ではAW-N3・N4・N5・N10・N11・N12・N13・N14・N16・N17・N18の備考欄に網戸[新設]と書かれています。内訳をどのように見込めば宜しいでしょうか。 | 図面A-48(建具表(6)(改修後))AW-N3、AW-N4、AW-N5およびA-49(建具表(7)(改修後))AW-N10、AW-N11、AW-N12、AW-N13、AW-N14、AW-N16、AW-N17、AW-N18の備考欄の網戸[新設]は取り止めとする。 |
| 28 | 内訳明細書(参考数量) A-47(建具表) | 内訳明細書の参考数量で、4 建具改修の(2)-7 その他 建具金物取換えにはLSD-1・4 レバーハンドル・シリンダー錠 36か所と明記されていますが、建具表ではLSD-4の金物欄には取替[新設]の明記がありません。LSD-4も見込みますか。 | 図面A-47(建具表(6)(改修後))のとおりとする。 |
| 29 | 内訳明細書(参考数量) A-07~20(平面図) | 内訳明細書 5. 内装改修の(2)-2 壁で、耐火間仕切 W1 2時間耐火 LGS65形 強化Pbt21+21 両面張とあります。平面図の凡例にも W1 軽量鉄骨間仕切壁(耐火2時間)とありますが、強化Pbt21+21 両面張り仕様では1時間耐火間仕切りです。LGS+PB使用での2時間耐火間仕切りは存在していないと考えますが、他の仕様等で可能であれば、ご指示下さい。 | 60分(1時間)耐火と考えて宜しい。 |
| 30 | 内訳明細書(参考数量) A-47(建具表) | 建具表ではSD-2の金物欄にレバーハンドル、シリンダーケースロック錠[新設]と書かれています。内訳明細書の4. 建具改修 (2)-7 その他 (内部) 建具金物取換えには、LSD-1,2,4のみの項目です。内訳をどのように見込めば宜しいでしょうか。 | 図面A-47(建具表(6)(改修後))のとおりとする。 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |